

平和とよりよき生活のために

広島

せいきょう

第18号 2006年8月31日

広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0012

広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4F

TEL 082-502-3850

FAX 082-502-3860

E-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp

URL:http://kenren.jccu.coop/hiroshima/

2006年度通常総会開催

会長理事挨拶
富田 巖



ご来賓

- 郷力 和晴様 (広島県県民生活部総務管理局長)
- 黒木 義昭様 (広島県農業協同組合中央会専務理事)
- 永瀧 正憲様 (広島県労働者福祉協議会副会長)
- 照井 雅史様 (日本生協連合会中四国地連事務局長)

5月31日、鯉城会館にて、2006年度県連通常総会を開催しました。

はじめに、主催者挨拶(富田会長理事)で、日本ユニセフ協会広島県支部設立と消費者団体訴訟制度制定の報告とお礼の後、「税金・社会保障等の非消費支出や将来への先行き不安が増大する今日、人間同士のつながりで暮らしを守る互助組織としての生協に課せられた社会的役割を果たすべく組合員と地域社会へ貢献していきたい」と決意と抱負を述べました。続いて、広島県県民生活部総務管理局長郷力和晴様をはじめご来賓の皆様から、生協に対する期待と励ましのメッセージをいただきました。

2005年度活動報告では、県連暮らし・消費者委員会代表の砂月理事より、税・社会保険料調べから消費税負担の逆進構造が顕著に見えてきたことついて、また、県連食の安全委員会代表の花尾理事からは、食育に関する活動について発表がありました。

2006年度はユニセフ活動の推進、消費者政策充実の取り組みなど、県内生協はもちろん他団体や行政と広く連携し、食の安全、福祉・医療、環境、平和、消費者政策などの各分野に積極的に取り組むことを確認しました。

2006年度第1回リーダー研修会開催

総会終了後、2006年度第1回リーダー研修会を開催しました。

講師に、福井県民生協理事長の藤川武夫さんをお招きし、「福井県民生協の経営品質活動の取り組みと到達点」についてお話しいただきました。

福井県民生協は、2000～02年の3ヵ年連続減収の危機直面後、「組合員と地域社会からの信頼」という目標を前面に掲げ、店舗・無店舗・共済・福祉の4事業を横断的に協働化し、社会的標準としての経営品質活動を位置づけ、運営を大幅に転換。結果、2003・2004年度福井県経営品質賞優秀賞、2005年度同知事賞受賞。事業実績では2004年度総事業高175億、経常剰余金は4億4千万円と、全国的にも卓越した事業業績を達成しました。

「競争しているのは他社ではなく組合員の意識である」など、協同組合の本質・根本を見失うことなく、客観的評価に挑戦するプロとしてのありようについて、参加した県連役員・会員生協役員職員・組合員リーダー90人からも「大いに刺激を受け奮起させられた」との感想が寄せられました。



ピースアクション in ヒロシマ開催



日本生協連合会と広島県生協連合会では、全国の平和の活動と願いを広島に持ち寄る「ピースアクションinヒロシマ」を、毎年8月4・5・6日に開催し、被爆の実相を学び核兵器廃絶への道を考えています。今年「継承と警鐘」をテーマに、子どもが参加できる企画も更に増やし、3日間でのべ2,000人が14の多彩な企画に参加しました。

メイン企画

ヒロシマ 虹のひろば 8月5日

〔広島県立総合体育館 グリーンアリーナ〕

通算28回目となる虹のひろばには、60生協・1,000人の参加がありました。前半の式典「虹のステージ」では、主催者挨拶（小倉修吾日本生協連合会会長）に続き、秋葉忠利広島市長から、「被爆61年目の今年は核兵器からの自由への新たな決意の年。固い意志と情熱を持ち今こそ取り組みましょう。生協のみなさんの行動に大いに期待します」と想いのこもった挨拶を頂戴しました。また、江種祐司さんの被爆証言を対話形式で聞いた高校生は、「当たり前と思っていた自由の大切さを感じ、平和を守るため行動が大切だと思った」と感想を述べ、客席から大きな拍手が起きました。後半「みんなのひろば」はそれぞれが自由に参加できるフェスティバル形式で、各地からのブース出展コーナーなどで交流しました。子ども達が楽しめる企画も多く、笑顔と活気あふれる2時間半となりました。

プログラム

虹のステージ

- ・主催者挨拶（小倉修吾日本生協会長）
- ・広島市長ご挨拶（秋葉忠利広島市長）
- ・広島市の活動報告（生協ひろしま岩永昌子さん）
- ・原爆症認定集団訴訟報告（三重利典弁護士）
- ・被爆の証言（江種祐司さん）
- ・合唱

みんなのひろば
ファイナーレ（うた）

前半・式典「虹のステージ」

<広島市長ごあいさつ>



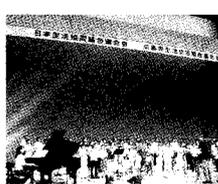
▲秋葉忠利広島市長

<被爆の証言>



▲江種さんと高校生（齊藤君・松田さん）

<合唱>



▲80人が心をあわせて「世界の命＝広島の心」「ねがい」を歌いました



後半・フリー参加「みんなのひろば」

<いろいろコーナー（9企画）>



▲ユニセフすごろく
3M×4Mの大きなすごろく。世界の子ども達の現状とユニセフの支援について書かれたマスを進みます

▼核兵器廃絶ミニ学習
三択クイズと紙芝居で核兵器をとりまく世界の情勢と廃絶への道筋を学びます



<ブース出展コーナー（27ブース）>



▼県内・全国の生協と他団体あわせて27箇所から出展。地域の取り組みを紹介し、参加者と交流しました



分科会

8月4・5・6日

碑めぐり、被爆の証言、ユニセフキッズフォーラムなど13の多彩な企画でのべ1,000人が平和について学びました

<ピースフォーラム～核兵器廃絶への道筋>



▲左から（財）広島平和文化センター平和市長会議担当課長薬師寺さん、NPOピースデポ中村さん、日本被団協事務局長田中さん

<被爆の証言～感じたことを手紙に書こう>



▶植野さんの証言を聞いた後、感じたことを「一番伝えたい人」宛のハガキに書きました（進行は事前学習会に参加した組合員）



<親子で参加する碑めぐり～触れるフィールドワーク>



▲国境線のない世界地図が描かれた平和の鐘をつく子どもたち

生協の平和活動

戦後、日本生活協同組合連合会結成にあたり、平和こそが豊かな暮らしと生協運動の発展の基となることを確認し、「平和とよりよき生活のために」をスローガンとすることを決め、様々な平和の取り組みを続けています。

ピースリレー 7月29日～8月4日

ピースリレー2006広島県連絡会では5月11日(木)に結団式を行いました。7月29日・31日および8月4日県内6箇所、延べ900人がリレーに参加し沿道の人々に平和の思いをアピールしました。

**ピースリレー2006広島県連絡会
〈構成団体〉**

- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県地域女性団体連絡協議会
- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県青年連合会
- 広島県宗教者NGO協議会
- 広島県生活協同組合連合会

山口県～広島県大竹市



和木町役場から大竹会館まで約150人が行進しました。

三次市内



つどいのあと、約170人が三次市内を行進しました。



東広島では出発に先がけて、藏田市長にご挨拶いただきました。

行政首長のみなさまからメッセージをいただきました(敬称略)

自治体	お名前	当日お越し頂いた方
大竹市	入山欣郎市長	(メッセージ)
尾道市	木村修一因島総合支所長	ご本人
東広島市	藏田義雄市長	ご本人
呉市	小村和年市長	大野市民部長
三次市	吉岡広小路市長	佐伯市民生活部長
広島市	秋葉忠利市長	(メッセージ)



稲荷橋西詰から「青い空は青いままで子どもたちに残したい…」と、約230人が平和公園をめざして行進しました。

8月4日(金)平和公園〈ファイナル〉



金座街・本通り商店街では多くの方々に、平和の大切さをアピールしました。



県被団協の坪井理事長(右)と生協連富田会長が、慰霊碑に献花の後、全員で黙祷しました。



坪井理事長の「人は過去には生きられないが、未来に向かってはいかようにも生きていける。世界中から核兵器がなくなる日までともに頑張らしましょう。」という挨拶のあと、小学4年生の柚木さんが平和のメッセージを読み上げました。

会員生協しポーターからの報告



グリーンコープ生活協同組合ひろしま 広島県から環境賞を受けました

2006年6月3日(土)「環境の日」広島大会で「平成18年度ひろしま環境賞」を受賞しました。「消費者としての視点で事業を行う中で、環境を守る活動に継続して取り組んできた事」が表彰の理由でした。

グリーンコープひろしまでは石けんしか扱わず、組合員には石けんの利用をすすめてきました。この結果、協同組合員石けん運動連絡会では3年連続石けん利用伸び率優秀生協として表彰されました。また、環境を調べる取り組みとして「松葉を集めて調べる“わが町のダイオキシン調査”」活動や太田川の環境ホルモン残留を調べる「水質検査活動」も続けてきました。事業面では食品トレーの回収リサイクル、調味料などの食品容器をリユースビンに変えて環境に優しい取り組みを続けています。

この賞をいただいたことを励みに今後も環境問題を考えた活動をすすめていきます。



松葉採取によるダイオキシン調査



ひろしま環境賞表彰式

会員紹介



日立造船因島生活協同組合

- 代表者名 理事長 田頭 俊彦
- 組合員数 11,377(人)
- 事業高 2,725,465(千円)
- 出資金 345,211(千円)
- 設立登記年月 1949年11月
- 活動エリア 尾道市因島、瀬戸田町、愛媛県越智郡上島町(弓削島、生名島、岩城島、佐島)
- 役員数 (常勤理事)4人、(非常勤理事)11人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)43人、(定時)59人、(長期アルバイト)9人

1949年11月に日立造船(株)の職域生協として設立されました。現在は地域生協として、食品店舗9店舗、衣料店2店舗、飲食店2店舗、共同購入を展開しています。また、組合員へよりきめ細かなサービスを提供するため、2003年から関連会社「コープサービス(株)」を設立し、葬祭、住宅リフォーム等の斡旋事業等を行っており、さらに2006年度は新たに葬祭事業をスタートさせます。

組合員活動では、家庭会役員会、店舗懇談会、商品選定委員会、店舗モニター委員会、ふれあいの会(組合員の助け合い)等の委員会と、文化活動として、講演会、料理教室、リサイクルバザー、ビーチバレーボール大会、店舗夏祭り等を開催し、組合員相互のコミュニケーションを図っています。

島嶼部の特性として少子高齢化が進む中、地域に根ざし、食の安全、くらしと健康をまもる活動を進めていきます。

〒722-2324 尾道市因島田熊町4508-1 Tel 08452-2-2560



地産地消をテーマにJA・漁協と共催した協同組合まつり(旧生協まつり)



竹原生活協同組合

- 代表者名 理事長 山本 省三
- 組合員数 11,103(人)
- 事業高 1,137,328(千円)
- 出資金 359,684(千円)
- 設立登記年月 1964年4月
- 活動エリア 竹原市、三原市、呉市、東広島市、広島市等9市6町
- 役員数 (常勤理事)9人、(非常勤理事)7人、(非常勤監事)4人
- 職員数 (正規)32人、(定時)46人

1964年4月に、三井金属竹原製煉所の職域生協として設立されました。竹原市、東広島市に3店舗営業し、更に20年前より無料宅配を展開して、組合員1万人強の地域生協になりました。

事業の主な柱として、店舗事業、宅配事業、LPガス事業、共済受託事業を展開しています。

〒725-0026 竹原市中央1丁目9-11 Tel 0846-22-2636



本部



生活協同組合ひろしま

- 代表者名 理事長 林 辰也
- 組合員数 338,952(人)
- 事業高 43,417,857(千円)
- 出資金 11,409,967(千円)
- 設立登記年月 1971年5月
- 活動エリア 広島県全域
- 役員数 (常勤理事)4人、(非常勤理事)21人、(常勤監事)1人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)657人、(定時)821人、(福祉専門員)56人

2006年5月、創立35周年を迎え、6月5日の通常総代会のあと開催した「創立35周年記念レセプション」には藤田県知事や秋葉広島市長をはじめ、多くの行政・友誼生協・お取引先・組合員の参加をいただきました。2006年度のめざすこと(方針)として「組合員の満足度を高め地域社会に貢献する生協をめざします」を掲げています。事業では、組合員のくらしの満足度をより高めるため、コープCSネットによる中四国9生協の連帯を推進させていきます。一方、社会的責任経営の確立をめざした取り組みをおこなうとともに、組合員活動の一層の充実をめざして多面的な取り組みをおこないます。

〒739-0495 廿日市市大野原1丁目2-10(大野事務所) Tel 0829-50-0350



35周年レセプション



グリーンコープ生活協同組合ひろしま

- 代表者名 理事長 吉川 るみ子
- 組合員数 15,206(人)
- 事業高 2,504,734(千円)
- 出資金 378,494(千円)
- 設立登記年月 1993年6月
- 活動エリア 広島県全域
- 役員数 (常勤理事)4人、(非常勤理事)19人、(非常勤監事)4人
- 職員数 (正規)28人、(契約・準職員)20人、(パート職員)50人

「命を育む食べものをあなたとともに創ります」を合言葉に、組合員が求める安全・安心な商品の開発・リニューアルをすすめ、組合員が自分たちの商品だと思えるような活動をすすめています。また、環境に関する活動も継続して取り組んでおり、「平成18年度ひろしま環境賞」表彰を広島県より受けました。子育て支援についても、子育てサークルの全地区設立、「すこやか2006」参加など積極的に取り組み、組合員で良かったと思えるようなグリーンコープをつくり続けています。



ひろしま環境賞表彰式

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目28-47 Tel 082-831-1500



広島県学校生活協同組合

- 代表者名 理事長 山今 彰
- 組合員数 20,157(人)
- 事業高 1,527,795(千円)
- 出資金 459,590(千円)
- 設立登記年月 1948年12月
- 活動エリア 広島県内の小・中学校及び幼稚園・保育所の職域
- 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)18人、(非常勤監事)6人
- 職員数 (正規)6人、(定時)5人、(パート職員)4人

教職員の福利厚生活動として、チラシによる共同購入や週配共同購入、商社と提携した展示会による供給活動などに取り組んでいます。また、生損保会社と提携して独自共済の供給や、団体契約による保険金収納代行業務なども行っています。

職場が多忙化し活動も困難になっていますが、「食の安全確保」や「平和・環境・人権を守る」取り組みなどをこれからも進めていきます。



コープ商品企画委員会

〒732-0052 広島市東区光町2丁目8-32 Tel 082-264-3311



広島県高等学校生活協同組合

- 代表者名 理事長 秋光 民恵
- 組合員数 6,493(人)
- 事業高 667,978(千円)
- 出資金 232,593(千円)
- 設立登記年月 1957年1月
- 活動エリア 広島県内の高等学校・障害児学校の職域
- 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)30人、(非常勤監事)5人
- 職員数 (正規)6人、(定時)11.8人

1956年4月に広島教組定期大会において生活協同組合の設立が決定され、1956年6月に設立総会を開催しました。広域職域生協として20年目を迎えています。

主な事業は、カタログ・CO-OP商品・共同購入などを中心とした自主供給、指定商社・ガソリン・百貨店・自動車整備工場などを中心とした指定店供給(斡旋供給)、および共済事業です。

2006年度は、経営基盤の強化につとめ、全国の学校生協との連携を深めつつ、全国的にも稀な高校生協としての職域の特性を活かし、組合員の福利厚生の充実を図ります。



総代会

〒730-0047 広島市中区平野町8-15 Tel 082-244-2311

会員紹介



広島大学消費生活協同組合

- 代表者名 理事長 田中秀樹
- 組合員数 17,077(人)
- 事業高 3,222,776(千円)
- 出資金 263,370(千円)
- 設立登記年月 1972年2月
- 活動エリア 広島大学の職域
- 役員数 (常勤理事)4人、(非常勤理事)26人、(非常勤監事)6人
- 職員数 (正規)33人、(定時)138人

書籍の1割引をはじめ、文具・パソコンの供給や学内TOEICなど、勉学・研究のサポートはもちろん、多様化するニーズに応え、インターネットでの和書・洋書・CD購入システム、旅行・免許・印刷・住まいの斡旋・各種保険・大小学会時のレセプション・配達弁当など、多角的・総合的な事業に取り組んでいます。また近年は、就職支援事業に重点的に取り組み、学生達を支えています。



〒739-0046 東広島市鏡山1-4-5広島大学会館内 Tel 082-424-2525

一人暮らし応援料理教室

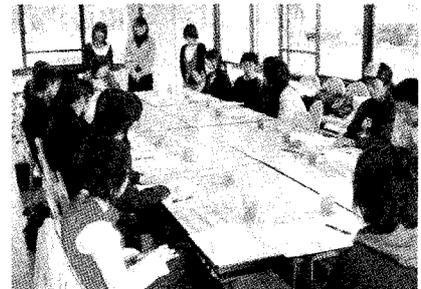


広島修道大学生生活協同組合

- 代表者名 理事長 柳田義章
- 組合員数 6,575(人)
- 事業高 619,931(千円)
- 出資金 64,425(千円)
- 設立登記年月 1972年11月
- 活動エリア 広島修道大学内
- 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)14人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)4人、(定時)21人

学内の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員・組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場にふさわしい様々な事業を行っています。

購買・書籍・旅行サービス・カフェテリアを中心とした生協店舗は、組合員の憩いの場であり、勉学研究を支える場となっています。また、「もしもの時はみんなの力で」をモットーに、学生が安心して生活できるよう、共済事業にも取り組んでいます。



〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1 Tel 082-848-1097

学生委員会で食堂メニュー開発



広島中央保健生活協同組合

- 代表者名 理事長 吉富啓一郎
- 組合員数 32,697(人)
- 事業高 4,495,456(千円)
- 出資金 923,831(千円)
- 設立登記年月 1955年9月
- 活動エリア 広島市内を中心に県内全域
- 役員数 (常勤理事)10人、(非常勤理事)20人、(非常勤監事)4人
- 職員数 (正規)391人、(定時)142.7人

当生協は国民皆保険の以前から、まちづくりの中で診療所をつくる事業と運動を通して51年前に誕生しました。現在、約33,000名の組合員が健康で長生きでき安心して住み続けられるまちづくりをめざして活動しています。保健大学、まちかど健康チェック、健康診断、すこやかな老後をつくる会、宅配給食、ヘルパー養成講座(広島県委託事業)をすすめています。また、2005年6月には生協さえき病院もオープンし、当生協内の病院合計で279床を有するに至りました。

今後は、一人ひとりの健康を守る事業と運動の多彩な展開などを重点にしています。これらを通じて、医療生協の「患者の権利章典」をより具体化した組合員活動、保健、医療、介護の活動をすすめます。

〒733-0023 広島市西区都町42-7 Tel 082-292-3179



子育て班 春のつどい



広島医療生活協同組合

- 代表者名 理事長 尾野展昭
- 組合員数 44,153(人)
- 事業高 4,630,440(千円)
- 出資金 995,264(千円)
- 設立登記年月 1967年2月
- 活動エリア 広島市内を中心に県内全域
- 役員数 (常勤理事)8人、(非常勤理事)32人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)360人、(定時)85人

医療・介護・福祉の事業を進めています。電子カルテ導入や回復期リハビリテーション病棟も開設し、施設面の整備も充実。共立病院の日本病院機能評価機構の認証に続き、2005年は全事業所でISO9001品質マネジメントシステムの認証を受けて、質の向上に取り組んでいます。

地域では、健康な生活をする上で困難が増していますが、医療をしっかりと住民のものにし、健康な生活を実現するため、30を超える支部で参加と協同による健康づくりや明るいまちづくり運動を進めています。



平和のつどい

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6 Tel 082-879-1111

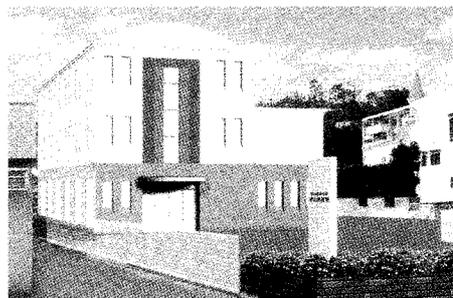


福山医療生活協同組合

- 代表者名 理事長 服部融憲
- 組合員数 9,903(人)
- 事業高 497,600(千円)
- 出資金 241,523(千円)
- 設立登記年月 1980年1月
- 活動エリア 広島県東部一円
- 役員数 (常勤理事)4人、(非常勤理事)10人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)47人、(定時)17人

今年度は当生協の初めての事業展開であった1982年建設の城北診療所を建て替える計画の達成が最重要課題です。現在の診療所の2.5倍となり当生協のセンター施設となります。医療介護が厳しくなる中、その荒波を乗り越えて経営的にも生協運動でも大きく前進させる力を持ちます。診療圏の組合員比率を50%にし、増資運動も1億円をめざしています。

4年前に策定した長期計画が今年度で終了します。第3次の長期計画の準備にも入り、第3次の柱は支部単位に支部のセンターを活用して子どもからお年寄りまで集えるような集まりを企画すること、また、大腸がん健診を柱にして支部単位で健診の受診をすすめ、支部としての事業としても位置づけます。施設事業としては高齢者住宅の建設などを診療所のまわりに建設して最後まで在宅で暮らせるような取り組みを追求します。



城北診療所2007年4月新築・移転オープン

〒720-0082 福山市木之庄町3丁目6-10 Tel 084-923-8161



広島県労働者共済生活協同組合

- 代表者名 理事長 小田一幸
- 組合員数 373,310(人)
- 出資金 2,373,610(千円)
- 設立登記年月 1959年1月
- 活動エリア 広島県内全域
- 役員数 (常勤理事)1人、(非常勤理事)24人、(非常勤監事)3人
- 職員数 (正規)34人、(定時)11人

広島労済生協(全労済)は、組合員の生活を守り、豊かな社会にしていけるために共済事業を行っています。共済事業とは、私たちの生活を脅かすさまざまな危険(生命の危険や住宅災害など)に対し、組合員相互に助け合うという活動を保険のしくみを使って確立した保障事業です。

近年では、組合員の保障を見直すことによる保障の充実と家計支出の軽減をはかることを目的とした「生活保障設計運動」を積極的に展開し、組合員のくらしの実現に向けた取り組みを強化しています。

全労済会館(広島市東区曙)では、個別の保障相談ブースを設け、プライバシーを保護しながら保障全般にかかわる個別相談にお応えしています。広島労済生協(全労済)は、組合員の安心・信頼感と満足度の向上に向け、組合員とともに、歩みつつきたいと考えています。

ご案内をお待ちしています。



カウンター風景

〒732-0045 広島市東区曙4丁目1-28 Tel 082-262-8270

会員紹介



生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合

- 代表者名 理事長 三橋 幸夫
- 役員数 (常勤理事)3人、(非常勤理事)17人、(非常勤監事)3人
- 組合員数 1,428,619(人)(9生協合計)
- 職員数 (正規)100人、(定時)27人
- 事業高 194,920,000(千円)
- 会員生協 9生協(鳥取県生活協同組合、生活協同組合しまね、生活協同組合おかやまコープ、生活協同組合ひろしま、生活協同組合コープやまぐち、生活協同組合とくしま生協、生活協同組合コープかがわ、生活協同組合コープえひめ、こうち生活協同組合)
- 設立登記年月 2005年10月

中国・四国地区9つの地域生協が連帯して商品活動、事業活動を展開するために2005年10月に誕生しました。各生協の自主的な商品と活動を尊重しつつ、9生協の知恵と力を集結して、高い水準の商品力を実現していきます。

2006年4月より中国地域5生協の商品カタログ統一および中国・四国地域9生協の非食品チラシ統一を進めています。



第1回通常総会

〒739-0496 廿日市市大野原1丁目2-10 Tel 0829-50-0633

県連紹介

概況

1967年9月に設立された広島県生協連は、現在13の会員生協に延べ88万4千世帯の組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は地域・職域の6生協、3つの医療生協、2つの大学生協、1つの労済生協、1つの事業連合で構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとって、なくてはならない存在になっています。また、食品の安全、平和、環境、医療・福祉、健康、消費者政策などは組合員のみでなく、県民全体の共通の課題です。

今後は、県内生協が一体となって「福祉を中心とした明るいまちづくり」「省エネを中心とした私たちにできる地球温暖化防止の取り組み」「循環型地域社会づくり」「消費者トラブルの防止」などの課題に取り組み、よりよいくらしと安心できる地域社会の構築に貢献します。

2006年3月末現在

会長理事	富田 巖
会 員 数	13生協 (休止1生協を除く)
総組合員数	884,703人
総出資金	17,945,572(千円)
総事業高	66,565,292(千円)
設立登記年月日	1967年9月6日

役員構成

会長理事	富田 巖(生協ひろしま特別顧問)	理 事	東久保 浩喜(広島中央保健生協専務理事)
副会長理事	田頭 俊彦(日立造船因島生協理事長)		仁田 祥男(広島県高等学校生協専務理事)
専務理事	岡村 信秀(常勤)		野村 文孝(グリーンコープ生協ひろしま常務理事)
常務理事	研本 正明(広島県学校生協専務理事)		橋野 俊子(生協ひろしま理事)
	坂本 裕(広島医療生協専務理事)		松山 智(福山医療生協専務理事)
	高井 章平(広島県労働者共済生協専務理事)	監 事	大越 和郎(広島中央保健生協副理事長)
	土井 律紀(生協ひろしま副理事長)		柴田 信昭(広島県学校生協常務理事)
理 事	宇田川 和代(広島医療生協副理事長)		金井 保(生協連合会コープ中国四国事業連合常務理事)
	小藪 猛(広島大学消費生協専務理事)	顧 問	中郷 勲(日立造船因島生協理事)
	砂月 容子(日立造船因島生協理事)		
	竹内 佳代(生協ひろしま理事)		
	田中 嘉市(広島修道大学生協専務理事)		